

# 河昌通信

2012年10月

第22号

発行：(株)河昌  
文責：藤井潤子  
須磨区松風町  
5-1-22  
☎078-733-0791

暑さ寒さも彼岸まで・・・とは良く言ったもので、ようやく暑さも一段落ついたように思います。長らく、厳しい残暑が続きましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか？

いよいよ、秋♪。一年のうちでも、ほんの少ししかない過ごしやすいいこの時期、有効に過ごしたいと思っています。

秋にはいろいろ行事も盛りだくさん・・・あちこちに首を突っ込んで、楽しみたいです。

さて、当店の先代は五人兄弟の三男坊です。昔は珍しいことも何ともなかったのですが、一人っ子の私としては羨ましい限りです。そして、ありがたいことに九十歳を筆頭に五人とも、夫婦そろって健在です。そこで、皆が元気なうちに、その子どもたちが寄って「従妹会」をしようと、同窓会など、いろいろな集まりの音頭取りにはまっています。店主が計画しました。

もちろん私もついて行く予定です。

結婚して二十五年たちますが、

初めて会う方がほとんど・・・。

こんな機会でも作らないと、遠方なので

会わずにしまいに終わっていた気がします。

どんな展開になるか、今からウキウキ

わくわく・・・楽しみです。



8年前の4兄弟  
(叔母はいずこに)

## 2000人ギター弾き語り&須磨海苔なんでも巻いてみました。

昨年もお知らせしましたが、今年も十月十三日(土)に

海浜水族園で2000人ギター弾き語り

があります。阪神大震災から十七年、

神戸はこんなに元気になったよ、と、

東日本大震災で被災した方々を

元気づけようと始まった昨年の第一回。

二〇〇〇人には到達しませんでした。それでも一〇〇〇人以上の

人が一堂に会し、上を向いて歩こうを弾き語りました。ギターを弾

けない私たちも参加、良い時間を共有させていただきました。

そして、何が素晴らしいかって、当日の寄付で、ギターを購入。

実際に東北に足を運んで、中学校に寄付、ギター教室も開催して

来られました。今年こそ、是非参加されませんか？弾けなくても

弦楽器をもっていけばOKです。詳しくは当店にもフライはーが

ありますので、営業にでもお尋ね下さい。

当店も、須磨ブラに続いて、「須磨海苔なんでも巻いてみました。」

というイベントを、十月十四日(日)に開催いたします。先月号

に書きました、色々なものを試しに海苔で巻いてみる企画で、

新聞ちらしも利用して、ご近所さんにも来ていただく予定です。

準備は大変ですが、遊びながら

当店を知っていただく良い機会かと

楽しんでいます。

さて、どんなことになりますやら・・・

また、ご報告させていただきます。



ゴーヤサラダ巻

十月のお休み

七、八、十四、二十一、二十八

お電話は九時から十七時三十分まで

それ以外の時間は留守番電話がお受けします。





## 店主自己紹介

皆様へ

一昨年の十月にはじめた「河昌通信」もおかげさまで二十二号となりました。

これもひとえに「読んでるよ。」とか「楽しみにしているよ。」と激励して下さる皆様のお陰です。本当にありがとうございます。

いつもは妻が書いているのですが、今回、私と家族の事について自己紹介させていただこうかと思えます。

私は、店主の藤井昌治(まさはる)と申します。「隠居のおじちゃん」と

呼んでいた母のおじが名付け親です。

昭和三十年十二月生まれの五十六歳

です。妻潤子(じゅんこ)、年齢は秘密

ですが、一緒に河昌で働いており、

事務と店番をしております。日ごろ

皆様とは、電話や「河昌通信」を

通して接させていただいており、私の苦手な毎日、毎週、毎月、決

めたことをきちつとやり続ける、という事は妻の仕事になってお

ります。

河昌を昭和四十六年に立ち上げたのが、父昭(あきら)と母佳子(さい

こ)です。今でも、古くからのお得意様から「お父さんどうしている

の」とか店の近所の方から「お母さん見かけないね」と言っていた

できます。いつまでも気にかけていただいていることを帰って話し

ますと、本当に嬉しそうです。



初節句

父は、六月にデイサービスで転び大腿骨を骨折しましたが、おかげさまで先日退院し、自宅で元気にしております。母は、父の世話と家事で病気をする暇もないとこぼしています。元気に一緒に暮らしていること、ありがたいことだと思います。

子供は二人で、長女は昨年横須賀の大学を卒業し、看護師をしております。夜勤もある不規則な生活ですが、毎日こぼしながらも趣味と仕事を両立させております。

長男は、娘と入れ替わりに、昨年から東京の大学に通っております。東日本大震災や福島原発事故の直後で楽しみにしていた入学式も取りやめになり、放射能の影響も心配しましたが、念願の大学で、充実した生活を送っているようです。

また、自宅から歩いて二分のところの妻の母が暮らしております。以前は茶道・華道を教えながら、裁判所の調停委員もしていましたが、少しずつ仕事も減らし、今は華道を教えながら旅行に行くなど自由に暮らしております。

先日、父が入院しておりますときに、父の祖父の亡くなった時の事を話してくれました。終戦の八月十五日に亡くなったのですが、七月に空襲で家を焼かれ、疎開した親戚の家の粗末な部屋で、治療を受けることもできずに、祖母にみとられて亡くなったようです。父はおじいちゃんっ子だったようで「かわいそうだった」と涙ぐみながら話してくれました。それに引き換え、自分みたいなにこんなにしてもらい、十分な治療も受けられ本当に幸せだと言ってくれます。

河昌も決算書を見ると順風満帆、未来洋々というわけではありません。でも、ひとりでもお客様がいて下さる限り、精一杯お客様に喜んでいただけるように続けていきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

株式会社河昌 店主 藤井昌治